



JR東労組 ハ王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2021/11/19 №52

八地申

2021年度 営業施策提案(その2)

第2号

団体交渉を開催！No.1

1. 今施策を実施するに至った経緯と根拠を明らかにし、西国分寺駅を中央コミュニティーデザインに委託する目的と根拠を具体的に示すこと。

組合

西国分寺駅をステーションサービスでなく、中央コミュニティーデザインにした理由は。安全がトッププライオリティー、安全をベースにした業務体制でなければならない！

会社

駅業務と生活サービス事業の深度化を考慮した結果、すでに西国分寺駅で「nonowa」を展開している（株）中央コミュニティーデザインの10年の実績と、個々の会社によって強みを考慮して（株）中央コミュニティーデザインの委託とした。

2. 駅業務委託にあたっては、この間の労使の確認事項と議論経過を遵守するとともに、「エルダー雇用の場の確保の必要性」を前提としたものにすること

組合

駅業務委託にあたっては、この間の労使の確認事項によって「エルダー雇用の場の確保の必要性」を前提してきたが。

会社

会社として考えは変えていない。が、昭和採用の退職と現在のエルダーが終了した後の業務体制を見越して業務体制を構築していくしかないといけない。会社としても技術継承と人材確保が急務の課題だ。

確認

3. 施策の目的の実現に向けて業務委託先での人材確保及び乗務員区も含め充分な教育を行ったうえで実施することすること。

組合

施策の周知の仕方について、現場で働く組合員は何をしなければならないのかわからず不安になっている。

会社

関係個所には周知をしているが、しっかり伝わっているのか確認することが大切である。タブレット等で掲載しただけではなく、本質的に周知されていることが大事と考える。

確認

4. 現在勤務しているライフサイクル深化制度異動者については、制度の主旨に則り今後の会社の考え方を示すこと。

組合

委託されることで西国分寺駅は対象駅ではなくなるのでは？ライフサイクル深化制度異動者とのコミュニケーションはどのように取られているのか？

会社

ライフサイクル深化制度異動者が担当するホーム業務が無くなるので対象駅ではなくなる。異動して期間を満了していただく考えだ。貴側との議事録・覚書を逸脱する考えはない。コミュニケーションは十分とれているという認識だが双方の確認が重要と考える。

確認